

日本社会情報学会ニュース

第30号 2008. 8. 6

- I 学会ニュース第30号発行に当たって（事務局より）
- II 2008年度第13回研究大会スケジュール（合同研究大会企画委員会より）
- III 2008年度第13回研究大会詳細プログラム（合同研究大会企画委員会）
- IV JSIS企画委員会 presents 若手研究者支援ワークショップのお知らせ
- V 2008年度学会費請求について（事務局より）
- VI 第49回日本社会情報学会（JSIS）理事会議事録
- VII 第50回日本社会情報学会（JSIS）理事会議事録

.....

I 学会ニュース第30号発行に当たって（事務局より）

学会ニュース第30号をお送りいたします。先に（7月25日）、メールマガジンでおよその内容を事前にお知らせいたしましたが、今回のニュースはその後の状況も含めて内容を一部変更しております。

事務局では、今後、会員の皆様への利便性をはかるとともに、経費と資源の節約に努めてまいります。

現在、会員のメールアドレスの変更などで、一部届かない会員の方もおられます。事務局では、会員への確認を進め、できるだけ早く、メールのある全会員に届くように努めますが、皆様もアドレス変更などの折は、ご一報下さい。

II 2008年度第13回研究大会スケジュール（合同研究大会企画委員会より） と大会参加費について

2008年日本社会情報学会（JASI & JSIS）合同研究発表大会が以下の通り、開催されます。

全体テーマ：デジタル社会の課題に応える社会情報学

2008年9月12日（金）～14日（日） 東京大学（本郷キャンパス）

基調講演：長尾真（国立国会図書館長）「デジタル・アーカイブの意義と課題」

シンポジウム・テーマ：「リスク社会における社会情報学」

パネリスト：名和小太郎（情報セキュリティ

大学院大学特別研究員）

正村俊之（東北大学大学院教授）

須藤修（東京大学大学院教授）

司会：遠藤薫（学習院大学大学院教授）

特別講演： 有馬利男（富士ゼロックス相談役）

プログラム

- 9月12日（金） 10：00～12：00 情報学環共催 WS「総合防
災情報研究と BCP」（仮）
13：00～15：00 自治体 WS
15：15～16：15 特別講演「情報化社会にお
ける CSR」
16：30～17：30 研究 WS（1）、（2）
- 9月13日（土） 10：00～11：30 自由報告
11：45～13：30 JSIS 総会、JASI/JSIS 理事会、
JASI 評議員会、JASI 委員会
14：00～15：00 基調講演「デジタル・アー
カイブの意義と課題」
15：30～17：30 シンポジウム「リスク社会
における社会情報学」
17：30～17：45 JASI/JSIS 表彰式
18：00～ 懇親会
- 9月14日（日） 10：00～17：15 自由報告、合同 WS

【2008 年度大会参加費のお知らせ】

	事前※	当日	懇親会
一般会員	5,000 円	6,000 円	5,000 円
学生会員	2,000 円	2,500 円	3,000 円
非会員一般	7,000 円	7,000 円	5,000 円
非会員学生	2,500 円	2,500 円	3,000 円
学部学生	事前、当日共無料※※		3,000 円

※ 事前受付期限は8月22日（金）です。下記振替口座まで、同封の振込用紙に、内容を明記してお振り込み下さい（学会費も同じ振込用紙をお使い下さい）。

※※ 論文集希望の学部学生には、2,500 円で販売します。

【振替口座】（会費等振込用）ゆうちょ銀行浜松店 00800-2-206239

【口座宛先】431-3125 静岡県浜松市東区半田山2丁目6-5 医大宿舎 E-117
藤井史朗（TEL:053-434-4520）

Ⅲ 2008 年度第 13 回研究大会詳細プログラム（合同研究大会企画委員会）

合同研究発表大会プログラム

テーマ：デジタル社会の課題に応える社会情報学

2008 年 9 月 12 日～14 日 東京大学（本郷キャンパス）

第1日目：9月12日（金）会場：赤門総合研究棟、経済学研究科棟

- 9:30 受付開始（赤門総合研究棟1階玄関ホール）
- 10:00-12:00 情報学環共催WS「総合防災情報研究とBCP」（仮）
（赤門総合研究棟1階、7番教室）
- 13:00-15:00 自治体WS「自治体におけるSNS活用～その課題と展望～」
（赤門総合研究棟1階、7番教室）
- 15:15-16:15 特別講演「情報化社会におけるCSR」
講演者：有馬利男（富士ゼロックス相談役）
（経済学研究科棟地下1階、1番教室）
- 16:30-17:30（並行）研究WS（1）
「社会情報基盤としての統計：統計法の改正」（赤門総合研究棟第12演習室）
- 16:30-17:30（並行）研究WS（2）
「モバイルインターネット・地域情報・アーカイブ」
（赤門総合研究棟第13演習室）

第2日目：9月13日（土）会場：赤門総合研究棟、経済学研究科棟

- 9:30 受付開始（赤門総合研究棟1階玄関ホール）
- 10:00-11:30 自由報告部会Ⅰ（赤門総合研究棟）
- 11:45-13:30 JSIS 総会、JASI/JSIS 理事会、JASI 評議員会、JASI 委員会
- 14:00-15:00 基調講演（経済学研究科棟地下1階、1番教室）
講演者：長尾真（国立国会図書館長）
「デジタル・アーカイブの意義と課題」
- 15:30-17:30 シンポジウム（経済学研究科棟地下1階、1番教室）
テーマ：「リスク社会における社会情報学」
パネリスト：名和小太郎（情報セキュリティ大学院大学特別研究員）
正村俊之（東北大学大学院教授）
須藤修（東京大学大学院教授）
司会：遠藤薫（学習院大学大学院教授）
- 17:30-17:45 JASI/JSIS 表彰式（経済学研究科棟地下1階、1番教室）
- 18:00- 懇親会（情報学環福武ホール・ベルトレージュ）

第3日目：9月14日（日）会場：赤門総合研究棟

- 9:30 受付開始（赤門総合研究棟1階玄関ホール）
- 10:00-12:00 自由報告部会Ⅱ（赤門総合研究棟）
- 13:00-15:00（並行）自由報告部会Ⅲ（赤門総合研究棟）
- 13:00-15:00（並行）合同WS（赤門総合研究棟7番教室）
「社会情報からみる「地域」と「活性化」」（仮）
- 15:15-17:15 自由報告部会Ⅳ（赤門総合研究棟）

第2日目・第3日目 自由報告部会

★自由報告部会はすべて赤門総合研究棟演習室で行われます。各演習室は隣接しており、具体的な部屋割りは当日のプログラムでご確認願います。

- 自由報告部会Ⅰ 9月13日（土）10:00～11:30

I-1 学習・支援部会

「A Study of Remote IT Support by IT Volunteer Group for Senior Citizens」

○周囲（名大）横井茂樹（名大）

「シニア初心者のための文字強調シールと文字入力テキストを用いたパソコン文字入力学習」山内章恵（日立マネジメントパートナー）横井茂樹（名大）

「パソコン操作支援ソフトウェアにおける中高年による「オンライン使い方相談」という試みー中高年相談員に着目してー」○森やす子（情報環境デザイン研究所）藤村宣之（健康・生きがい開発財団）江頭靖二（インテル）

I-2 地域構造変化部会

「経済的要因による少子化の地域格差に関する実証分析」○佐々木康成

（秋田県大）嶋崎真仁（秋田県大）岸川善紀（秋田県大）

「産業構造の変遷から見た地域特性に関する研究」○岸川善紀（秋田県大）嶋崎真仁（秋田県大）

「地域発の情報産業育成施策に関する調査研究ー産学連携に焦点をあててー」○嶋崎真仁（秋田県大）岸川善紀（秋田県大）能登谷淳一（秋田県大）

I-3 理論部会①

「インターフェイス再考：アラン・ケイ「イメージを操作してシンボルを作る」は何を意味するのか」水野勝仁（名大）

「情報による解釈の簡易化」石川真也（名大）

「情報社会における芸術作品とパラドクスの美学」秋庭史典（名大）

I-4 国際部会①

「On Digital Divide Indices」Kamila Kolpashnikova（東大）

「Socio-Cultural Risk Factors in Public Health Problems at Disaster Affected Area: A Case Study in Infectious Disease」○Agung Budi Sutiono（電通大/ハサンサディキンパジャジャラン大学病院）諏訪博彦（電通大）太田敏澄（電通大）Andri Qiantori（電通大）

「東アジアにおける海外直接投資とICT産業の域内貿易に関する分析」○劉昱立（東大）田中秀幸（東大）

I-5 デジタルコンテンツ部会

「音楽ビジネスのヒット戦略ーFUNKY MONKY BABYSを事例に」加藤綾子（東大）

「コンテンツ産業の発展段階の視点から考察するCGMの産業組織」樺島榮一郎（東大）

「動画共有サイトにおけるユーザー参加型のオープン・クリエーションモデルーYouTubeとニコニコ動画の比較分析」○沖松健太郎（東大）松本淳（東大）

I-6 電子自治体部会①

「地方自治体のWebサイトに見る外国人支援ー多文化共生とICT」○馬場眞知子（電通大）福田豊（電通大）

「自治体広聴制度におけるweb利用の現状と課題」本田正美（東大）

「地方自治体におけるライフサイクルを考慮した情報システムのIT投資効果モデル」吉田博一（摂南大）

I-7 地域コミュニティとメディア部会

「少子化社会における未来を育む社会作りと情報力」大江ひろ子（横国大）

「コミュニティ・チャンネルにおける広域化・ネットワーク化の可能性」内田康人（目白大）

「コミュニティ・メディアにおける担い手養成の現状と課題」牛山佳菜代（目白大）

■自由報告部会 II 9月14日（日）10:00～12:00

II-1 情報システム部会①

「批判的評価と秩序ある議論の両立を考慮した文献評価システムの設計」○岩井淳（群大）
正木弘（群大）吉崎陽介（群大）

「テキスト編集に基づく音声文書の知的アーカイブ」○松原茂樹（名大）伊藤正詩（名大）
大野誠寛（名大）

「ディスプレイ周辺部を利用した文書作成システムの提案」○定国伸吾（大同工大）茂登
山清文（名大）

「オンラインショップにおける家電製品の環境情報表示の改善策に関する研究」○窪田収
一（電通大）山本佳世子（電通大）

II-2 地域ネットコミュニティ部会①

「地域 SNS を活用した市民まちづくりの実証実験 - 「けいはんな」地区の知識社会型ソ
ーシャルキャピタルを基盤として」○水野義之（京都

女子大）西村一朗（平安女学院大）藤田忍（大阪市大）吉村輝彦（日本福祉大）

「地域 SNS におけるネットワークの遷移」○岡本健志（東大）中野邦彦（東大）田中秀幸
（東大）

「電子デモクラシーと地域コミュニティツールに関する一考察」古坂正人（東大）

「関東地域の市民活動団体の IT 利用調査と Web ツール活用可能性の検討」○服部哲（神
奈川工大）横井茂樹（名大）速水治夫（神奈川工大）

II-3 国際部会②

「Changes in the Labor Process in the Korean Independent Broadcasting Production Sector:
Toward Flexible Production and Its Effects」CHANGWOOK KIM（Seoul National University）

「中国市場における日本の端末の普及可能性分析～携帯電話の開発と利用についての中日
比較を中心～」○張文杰（電通大）福田豊（電通大）

「日韓モバイルペイメント普及過程の分析」趙章恩（東大）

II-4 法制度部会

「デジタル・ネットワーク環境下における著作権の在り方に関する考察」志鎌由佳里（東
大）

「私的録音録画補償金制度に関する一考察」金野和弘（岡山学院大）

「匿名掲示板における管理者の法的責任 情報媒介者こそが生殺与奪の全権を握る」工藤
浩（前橋工大）

II-5 企業コミュニケーション部会

「企業内 SNS 導入の有効性に関する研究」○加藤菜美絵（電通大）小川 祐樹（電通大）
諏訪博彦（電通大）太田敏澄（電通大）

「コンジョイント分析による暗黙知伝播に関する実証研究」田村泰彦（群大）

「エスノグラフィックな観察による企業内会議の分析と改善」○原田裕明（富士通研）山
田茂（富士通研）小幡明彦（富士通研）

II-6 電子コミュニティ部会

「オンラインコミュニティの協働促進的機能と匿名性」○永井睦美（電通大）福田豊（電
通大）

「インターネットと社会関係資本」宮本瑛（東大）

「匿名性によるヴァーチャル・コミュニティの構造変容」森岡武史（北大）

「サイバースペースにおける論理的可能性 - 新しい社会の漣繋を目指して -」○曾
我千亜紀（愛知芸大）山田庸介（名大）井上寛雄（鈴鹿医療科学大）清水高志（名大）米
山優（名大）

II-7 情報生活部会

「情報環境に対応した情報関連 QOL 指標の開発（改訂版）」○宮本 和明（創価大）坂部 創一（創価大）

「地域情報化における楽しみと市民の主体性醸成に関する研究」○福田将哉（電通大）福田豊（電通大）

「インターネット利用行動とパーソナル属性の関係」○藤原正弘（KDDI 総研/東大）木村忠正（東大）

「ゲーム機器・情報機器の利用が家庭に及ぼす影響についての考察—小学生ならびに保護者への調査事例を中心に—」毛利康秀（日大）

■自由報告部会 III 9月14日（日）13:00～15:00

III-1 学習・教育部会

「オンライン上の学習活動とその社会的可能性—CMS (P1 one) を利用した事例から—」石田千晃（一橋大）

「ICT 支援による教育コミュニティ形成に関する考察～教育コミュニティ形成のための学習システムに関する基礎研究～」○上杉啓恵（電通大）

福田豊（電通大）

「サイバー社会における学習支援環境の枠組み」渡邊豊英（名大）

「CMS を活用した理科教育のための Web サイト「理科教材データベース」の運用」○松本早野香（名大）川上紳一（岐阜大）

III-2 理論部会②

「社会情報の核心」○田中一（北大名誉教授）長田博泰（札幌学院大）

「情報学諸理論のメタモデル化」○井上寛雄（名古屋芸大）清水高志（名大）米山優（名大）

「「情報化のパラドックス」に関する—考察～情報経済社会における市場化とパーソナル化の盲点～」河又貴洋（長崎県大シーボルト）

「「情報」の誕生と朝鮮半島への伝播」原田孟（東大）

III-3 情報システム部会②

「法情報検索における情報探索モデル」○山内理嗣（東工大）往住彰文（東工大）

「参院選における予測市場の実施とその有効性の検証」金澤圭吾（ヤフー）伊藤智基（静岡大）岸弘倫（静岡大）佐藤哲也（静岡大）

「Comparison between Artificial Neural Network and Multiple Regression Method in Forecasting Exchange Rates of Indonesian Rupiah to United State Dollar」○Andri Qiantori（電通大）Sumarno Zain（パジャジャラン大）Kurniawan Saefullah（パジャジャラン大）Toshizumi Ohta（電通大）Hirohiko Suwa（電通大）Agung Budi Sutiono（電通大）

「株式指標とインターネット株式掲示板の投稿内容の関連性～投稿量によるリスクファクターの構築～」○橋口大右（電通大）梅原英一（野村総研）諏訪博彦（電通大）太田敏澄（電通大）

III-4 電子自治体部会②

「西宮市における庁内業務の Web 化事例（後期高齢者医療保険システム）」片貝孝夫（片貝システム研究所）

「電子政府のサービス価値の評価モデル」後藤玲子（茨城大）

「電子自治体における SOA 導入の課題と可能性」○林隆史（会津大）後藤玲子（茨城大）田中秀幸（東大）須藤修（東大）

「自治体の情報セキュリティにおける成熟度モデル」○東川輝久（摂南大）久保貞也（摂南大）島田達巳（摂南大）

■自由報告部会 IV 9月14日(日) 15:15～17:15

IV-1 地域情報システム部会

「動画を用いた地域情報配信による中心商業地の活性化実験～総務省「戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)」による取り組み～」○近藤真由(名大) 安田孝美(名大) 宇佐美理(名大)

「地域情報における専門情報と草の根情報の融合によるコンテンツ開発の可能性について」○後藤昌人(金城学院大) 近藤真由(名大) 服部哲(神奈川工大) 安田孝美(名大) 横井茂樹(名大)

「地域文化継承のためのWebプラットフォーム」○吉田千穂(名大) 安田孝美(名大) 横井茂樹(名大)

「地域社会活動記録のための地図モデル」○広部一弥(名大) 渡邊豊英(名大)

IV-2 情報システム部会③

「ソーシャルブックマークとブログの共リンク分析による有力ブロガー抽出」○仁藤 慎平(電通大/NTTサイバーソリューション研) 藤村 考(電通大/NTTサイバーソリューション研)

「動的なトピック分類を用いた推薦アルゴリズムの提案」○小川祐樹(電通大) 諏訪博彦(電通大) 山本仁志(立正大) 岡田勇(創価大) 太田敏澄(電通大)

「番組実況コミュニティの特性を考慮したキーワード抽出手法」○山下一雄(静岡大) 兼山元太(静岡大) 佐藤哲也(静岡大)

「製品評価掲示板における関連表現に関する研究」○和田佳子(電通大) 小川祐樹(電通大) 諏訪博彦(電通大) 太田敏澄(電通大)

IV-3 知識ネットワーク基盤構築部会

「プロジェクトマネジメントとワークスペースを結合したヴァーチャルチームマネジメント」Florin Perpelescu(名大) 米山優(名大)

「食品製造業を中心としたWeb-GISによるゼロエミッション・ネットワークの構築」○張世峰(電通大) 山本佳世子(電通大) 和泉 潤(名古屋産大)

「メッセージング・ネットワークを用いた知識社会情報基盤構築」○村上誠(ソフトバンクテレコム) 酒井琢夫(ソフトバンクテレコム) 福原英之(ネットワンシステムズ) 小瀬田勇(ネットワンシステムズ) 藤田龍太郎(ネットワンシステムズ) 川内見作(東大) 高橋友一(会津大) 衣川昌宏(Eyes JAPAN) 宮崎敏明(会津大) 齊藤梅朗(会津大) 加羅淳(奈良工業高専) 岩瀬次郎(会津大) 林隆史(会津大)

IV-4 ICT 産業部会

「Knowledge-intensive Services (KIS) and R&D -- Technological Innovation in Service Industry」木下裕美子(東大)

「情報サービス産業の事業モデルと経営成果に関する定量分析」廣松毅(東大) ○坪根直毅(大和総研) 小林稔(和光大) 栗田学(大和総研)

「Standards as Strategic Advantage in ICT Competition」Steven Jarvis(東大)

IV-5 定性的情報行動部会

「フィールドワークツールとしての携帯電話向け場所ブックマークコミュニティの構築と実践」持木俊介(慶大) 池田大造(NTTドコモ総研)

「若年層のモバイルデバイスを利用した自己呈示と社会環境の定性的調査」天笠邦一(慶大)

「エスノメソドロジーによるコミュニケーションの滞りの分析」○齋藤耕一(コウゲツ) 櫻井成一郎(明治学院大)

「伝言板を通じた次世代コミュニティの可能性—下北沢南口におけるコミュニケーションツール—」藤井裕之（慶大）天笠邦一（慶大）岡部大介（慶大）加藤文俊（慶大）

IV-6 ネットとジャーナリズム部会

「Web2.0時代におけるジャーナリズムの役割」山本悠（東京工科大）

「市民メディアの SWOT 分析—市民メディアのジャーナリズムとマネジメント—PJ ニュースを事例に—」小田光康（東大）

「IT革命と報道、そしてCSR（企業の社会的責任）」古賀純一郎（共同通信社）

IV-7 地域ネットコミュニティ部会②

「地域ポータルサイトの構築・運営における課題に関する考察」平本一雄（武蔵工大）○上野亮（価値総合研）

「地域サイトのもつ地域連携機能について」河井孝仁（東海大）

「行政情報と民間情報の一体的発信の評価と発信主体の選択」○藤田昌弘（大手前大）有馬昌宏（兵庫県大）川向肇（兵庫県大）

IV JSIS 企画委員会 presents 若手研究者支援ワークショップのお知らせ

近年の研究環境は、若手の研究者にとってやさしいとはいえません。そこで今年度新設された企画委員会では、若手研究者の支援と、会員研究者どうしおよび社会の最前線の実践家との交流を目的にしたプロジェクトをおこなっております。

その目的は以下のとおりです。

- (a)主として若手研究者が、研究発表の仕方を学ぶと共に、自らの研究に社会的なリアリティを持たせられるようなコメントをもらえる場。
- (b)各研究テーマの最前線の実践家にコメントいただき、社会的な応用可能性を議論する場。
- (c)企業の第一人者をコメンテータとしてお招きし、共同研究や事業化への道を探るなど、社会的意義の高い研究をめざす場。

まず試験的に、今年度の合同研究大会にて、以下のようなワークショップを開催いたします。来年度の合同大会では、さらに各地域での若手支援企画の開催も予定しております。特に社会情報学の発展を担う若手研究者のみなさまのご来場と、議論・ネットワーキングへのご参加をお待ちしております。

JSIS 企画委員会 presents 若手研究者支援ワークショップ

テーマ：モバイルインターネット・地域情報・アーカイブ

日時 9月12日 16:20~18:20 東京大学本郷キャンパス 赤門研究棟

- ・コーディネータ 日本社会情報学会（JSIS）企画委員会
- ・司会 安田孝美（名古屋大学・大会企画委員）
- ・基調報告者 中村広幸（芝浦工業大学）

『「空間アーカイブ」としてのステレオ映像データベースの構築』

Archiving "Space" in Stereo Format

- ・指定報告者

(1)持木俊介（慶應義塾大学大学院） 『BAMBOO!・場所を、ムービーでブックマーク!』

(2)柴田邦臣（大妻女子大学社会情報学部） 『“社会参加”するケータイ』

・コメンテータ :

- (1) 楠 正憲 マイクロソフト（株） 最高技術責任者補佐
- (2) 香村佐斗史 みずほコーポレート銀行 産業調査部 情報通信チーム次長
- (3) 藤原正弘 KDDI 総研 研究主幹
- (4) 大國充彦 札幌学院大学 (JSIS 企画委員長)

V 2008 年度学会費請求について（事務局より）

今回、振込用紙を同封いたしましたので、2008 年度（もしくはそれ以前）の会費につきまして、お振り込みいただけるようお願いいたします（大会参加費も、同じ振込用紙をお使い下さい）。各会員の皆様の会費請求年度につきましては、同封のお知らせをご参照下さい。

なお、振込先は以下の通りです。各自で郵貯銀行より振り込んでいただいても結構です。

【振替口座】（会費等振込用） ゆうちょ銀行浜松店 00800-2-206239

【口座宛先】 431-3125 静岡県浜松市東区半田山 2 丁目 6-5 医大宿舎 E-117

藤井史朗 (TEL:053-434-4520)

☆なお、理事会では、次期総会での規約一部改正を含め、口座名・口座住所の日本社会情報学会名固有のものに変更を準備しておりますが、当面、上記口座で振り込んでいただけます。

VI 第 50 回日本社会情報学会（JSIS）理事会議事録

- ・日時 2008 年 4 月 5 日（土）13:30～17:00
- ・場所 東京大学情報学環 6 階会議室
- ・出席者 阿部、今田、遠藤、大國、岡田、加藤、北村、黒須、黒葛、柴田、須藤、長田西垣、橋元、正村、守弘、森谷、安田、藤井

報告事項

1. 第 48 回理事会以降の活動について

- ・雑誌編集委員会

黒須前委員長より、査読の終了について報告され、枚数オーバーなど投稿規定が守られていない旨示唆された。

2. 合同英文誌の発行について

黒須前委員長より編集の進行について、4 月中に完成の予定であることが報告された。また、この発行の経過について発言があった。

3. 会員状況および会費納入状況について

阿部前会長より、会費未納の資格停止者の状況について報告された。これについて、督促のあり方等についての質問があった。

4. その他

黒須会長より、本年度の合同研究大会を、9月12, 13, 14日に山上会館にて行う旨報告があった。

審議事項

1. 第48回理事会議事録(案)の承認について

承認された。

2. 入・退会の承認について

入会者3名、退会者9名について承認された。

3. 2008年度第13回研究大会について

黒須会長より、今年度以降も合同で行うこと、本年度はJASI主体で東京大学で開催すること、基調報告やシンポジウムのテーマ等について報告された。これについて議論し、シンポジウムテーマの内容や報告者について意見が出された。

4. 3年以上会費未納者の扱いについて

長田前総括幹事より、3年以上会費未納者の扱いについて、正会員については督促後、休会措置、勤務先等わからない学生会員については除名にするとの提案がなされた。

これについて議論し、未納者への督促の仕方、研究報告との関係、除名者の再加入の条件、入会時の会費納入方法などについて議論され、基本的に提案が承認された。また、会費の口座自動引き落としに関わって、現在は事務局変更毎に口座が変わる状況にあることが指摘された。

5. その他

黒須会長より、'08~'09 JSIS 理事会の運営について、基本コンセプト、重点課題、具体的な仕事、役割分担等の報告がされた。

これについて議論し、特に、副会長が長となる新設の「企画委員会」について、若手会員の拡大に向け入会パンフを改善すること、若手会員の活性化について、査読委員の選定方法、などについて意見が出された。

次回の理事会を7月19日に開くこととした。

VII 第50回日本社会情報学会(JSIS)理事会議事録

日時 2008年7月19日(土) 13:30~16:30

場所 東京大学情報学環7階第2会議室

出席者 今田、遠藤、大國、岡田、黒須、北村、柴田、守弘、橋元、森谷、安田、吉田、藤井

報告事項

1. 第49回理事会以降の活動について

イ. 編集委員会

・和雑誌編集委員会

19名投稿、査読者に依頼中であることが報告された。

・英文雑誌編集委員会

両学会の編集委員で査読等につき議論していること、創刊号は、印刷したが、校正ミスがあり発行が遅れている旨報告された。また、2号以降につき、原稿の募集期限と発行予定時期について報告された。

また、査読体制について、オンライン査読の方法、査読者を3人体制にすること、会

員以外の査読者への謝金支払いの是非、創刊号校正にかかる費用の支出方法等について提案された。これらについて意見交換し、編集委員会の提案が認められた。

ロ. 研究委員会

今回は特に報告すべき事項がなかった。

ハ. その他の委員会

・企画委員会

若手支援ワークショップなど、今年の学会大会に間に合うように、テーマ設定やコメントーターを準備している旨報告された。また、委員長より大会の企画につき学会のホームページを更新する旨が報告された。これに関連して会長より、学会のホームページで規定の更新がされていない旨指摘され、法規委員会でこの間の規約改定などを集約して、掲載したいとの指示があった。

2 会員状況および会費納入状況について

まだ、前事務局と現事務局との名簿や会費についての引継が途上であるため、早急に行うことが確認された。

3 その他

事務局長から、会員名簿は、今度の総会で議案書を送るときに同封するとの報告があった。

審議事項

1. 第 49 回理事会議事録（案）の承認について

事務局より報告され、承認された。

2. 入・退会の承認について

既に承認されている入会者 15 名、退会者 1 名について、報告され、未承認であった入会希望者 2 名についても承認された。

3. 2008 年度第 13 回研究大会及び 2009 年度第 14 回研究大会について

第 3 回 JASI/JSIS 大会合同企画委員会より、全体テーマ、基調講演、シンポジウム等の準備状況、申し込み状況、合同ワークショップ等について報告された。また、プログラム等については、本日の合同委員会で確定すること、論文フォーマット等について、半数以上の投稿者に問題があるとの指摘があった。

これについて意見交換し、9 月 13 日の理事会開催を 11 時 50 分からにし、12 時 30 分～13 時 30 分まで総会を行うことを確認した。

また黒須会長より、2009 年度 14 回大会は、新潟大学で行うことが報告された。

4. 2008 年度第 14 回総会議題について

岡田総括幹事より、議題案が報告され、特に、本年度は、学会口座名称、ニュース配布方法、学会誌在庫処分についての提案を付加したい旨指摘され、大きな方向が了承された。

学会賞選考委員会より、準備状況について報告され、早急に具体化することが確認された。

また編集委員会より、和雑誌も含め、非会員に査読を依頼する場合の査読料をさしあたり 5000 円とすることが提案された。

5. 学会の新口座開設報告と今後の口座名称、学会住所の記載法について

岡田総括幹事より、学会名による口座開設に伴って必要とされる、学会規約への事務局所在地の記載法についての規約改正案が報告された。

これについて議論し、なおこの方法で口座を開設しても事務局移動毎に口座の変更が余儀なくされることなどが指摘され、JASI が行っているような、事務機能の一部外注化

による、口座に関わる連絡住所の固定化を検討することとした。

6. 「日本社会情報学会ニュース」の配布方法について

岡田総括幹事より、学会ニュースの電子化への移行について、会員の意向の確認、希望者への電子メール化などを進め、最終的に全面電子化を目指すとの方向性について提起された。

これについて議論し、当面は、年数回の郵送によるニュースを行いながら、適宜電子メールによる配送の可能性を検討することとした。

7. 「社会情報学研究」の在庫処分について

岡田総括幹事より、現在各巻 50 冊ほど残っている「社会情報学研究」の扱いに関して、在庫整理、学会収入の確保、新入会員・若手会員などへの安価な配布、等の理由から、何らかの形で販売を考えたいとの提起があった。

これについて議論し、JASI の研究誌の在庫処分などとも合わせ、次回の学会大会での販売も含めて検討することとした。また、今後の発行部数や、PDF 化した保存なども検討することとした。

8. 名簿の整理と事務局への移動

現在まだ終了していない名簿整理と現事務局への移管をできるだけ早く進めることが確認された。

9. 次回理事会の開催日程について

次会は大会中の 9 月 13 日 11:50 分より開催することとした。更に、次々回は 12 月 6 日（土）13 時 30 分から東京大学大学院社会情報学環で行うこととした。

10. その他

会長から事務局に対して学会の宣伝パンフレット（見開き両面で、A3 の 3 枚折）を作成するように指示があった。

日本社会情報学会（JSIS）事務局

〒432-8011 静岡県浜松市中区城北 3 丁目 5 - 1

静岡大学情報学部 藤井研究室気付

TEL&FAX 053-478-1522（直）

e-mail : s-info@inf.shizuoka.ac.jp

URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis/>